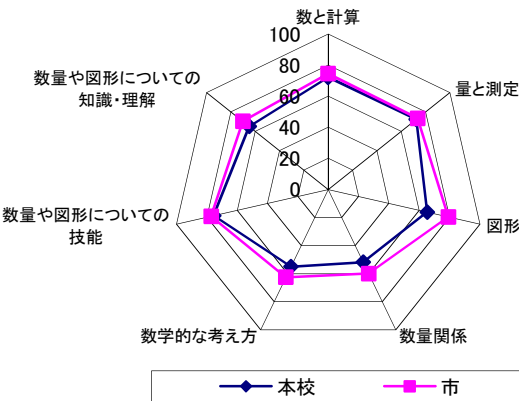


宇都宮市立御幸小学校 第4学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	72.1	74.5
	量と測定	72.4	73.5
	図形	65.3	79.2
	数量関係	51.8	59.9
観点別	数学的な考え方	55.0	62.5
	数量や図形についての技能	75.5	77.1
	数量や図形についての知識・理解	64.9	70.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	- 平均正答率は、市の平均を少し下回っている。 - 数直線上に示された分数を読み取ることができない。 - 概数に対応する数の範囲が理解できていない。	- 数直線にふれる機会を多くし、数の仕組みを考えられるようにする。 - 計算問題は比較的正答率が高かったので、引き続きドリルなどで習熟させる。
量と測定	- 平均正答率は、市の平均を少し下回っているが、分度器の読み方や基本図形の求積は上回っている。 - 複合図形や求積ができない。	- 見当をつけてから求めたり、活用したりする問題を取り入れていく。 - 複合図形などの応用問題にも対応できるよう、多様な考え方で取り組めるようにする
図形	- 平均正答率は、市の平均をかなり下回っている。 - 円の直径と半径の関係が理解できていない。 - コンパスを使っての三角形の作図ができていない。	- 基本的な図形について、家庭学習等で復習させたり、学習したことをまとめさせたりする。 - コンパスや定規などを使った作図指導を多く取り入れていく。
数量関係	- 平均正答率は、市の平均を下回っている。 - 二次元表を読み取る問題ができていない。 - 計算の順序が理解できていない。	- 他教科との関連を図り、アンケートをまとめるときに活用させる。 - 文章問題の立式などで、計算のきまりを随時指導していく。